



◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動にニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバース3階)/オールウェイズ(津センターバース1階)/津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)/【有】デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2)/鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8)/特定非営利活動法人みえきた市民活動センター(桑名市田町33)/四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウィリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(伊賀市小玉町3045-1)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/伊賀市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務所/上野青年会議所/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5)/松阪大学(松阪市久保町1846)/松阪市市民活動センター(松阪市日野町788)/名張市市民活動センター(名張市夏見2812)/松阪まちづくりセンター「まちの駅松阪「寸庵」」(松阪市本町2217)

【地域の社会福祉協議会】県内49の市町村社会福祉協議会
【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

子どもの心を受けとめる仕組みづくりをめざして「チャイルドライン24」設立準備会発足!

三重県では、子どもの心を受け止める仕組みを行政、企業、NPOなどでつくっていきます。これは、関係する団体が協定を結んで、事業の成果を最大限に活かそうとするもので、県が新たに取り組む「新しい時代の公」の実践提案事業の一つです。

非営利で公益的な目的、「子どもの心を受け止める仕組み」づくりをめざして、具体的事業を通じてネットワークを組んで進めていきます。

その具体的な事業が、民間団体が実施運営を担う「チャイルドライン24」です。

ありのままの自分を受け止めてもらえないまま育った子ども達は、自尊感情を持たず苦しんでいます。指示しない指導しないでひたすら子どもの声を傾聴することをコンセプトに子どもの心を受け止める24時間フリーダイヤル相談電話(子ども専用電話)「チャイルドライン24」を立ち上げます。

これは、平成15年度のNPOからの協働事業提案から生まれた企画です。今まで1年半をかけて、それぞれの団体の立場や役割について議論を深めてきました。これからは具体的な事業を通じて結果をだすという段階になりました。

今後5月5日～8日こどもの日試行を皮切りに24時間フリーダイヤル実施を目指します。資金づくりも「オレンジの羽根」の募金運動などを通して民間、行政が協働して行っていく予定です。また、チャイルドライン24にかかってくる子どもの声からまとめられる報告書づくりなどがあります。行政側はその活動の報告を施策に取り込んでいくということが求められます。こういった過程を共有して進めることで、行政は本当の意味で総合的に機能し、NPO側はそれぞれの活動を深めていくことにつながっていきます。

やることは、いっぱいですがこれから取り組む活動が、子どもが安心して育つ社会づくりへとつながっていきます。ぜひ、チャイルドライン24をご支援ください。よろしくお願ひ致します。

【チャイルドライン24こどもの日試行】

5月5日(祝・木)PM2:00～PM9:00 Tel.0120-7-26266

5月6日(金)AM10:00～8日(日)PM9:00 Tel.0120-969-147

アスト de プロデューサー 17 岡嶋多華夫

企業の社会貢献情報をホームページで提供します。

最近企業で流行っているCSR(Corporate Social Responsibility)ですが、先日、三重県中小企業団体中央会から、県内の企業・組合の社会的事業のアンケート報告書が出されました(社会的要請事業調査研究事業報告書)。そこには全体的な実情として、「企業のメリットは少ないにも関わらず、企業の負担につながることさえあり、企業が行うことの意義・意味が見出せない。」という傾向が挙がっていました。

「理念が実行レベルに落とし込まれているのか」という企業としての体制作り、「情報提供や社会貢献の場作りを支援する」というNPO・行政、この3者の協力なしではなかなか持続は出来そうにありません。そこで当センターでは、企業の社会貢献データ表を作成中です。社会貢献をしている企業さん、またその企業を知っている方は、ぜひ一報ください。

つながる つなげる 2 県ボランティアセンター 北出真由美

この4月から個人情報保護法が全面施行され、今まで以上に個人情報の取扱いに配慮が必要となります。この三重県ボランティアセンターでも、県内の各社会福祉協議会に登録していただいているボランティア団体の情報を管理しています。団体の情報といっても、代表者名、連絡先などのほとんどは個人情報になります。電話や対面でボランティア団体に関する問合せがあった場合、基本的には、ボランティア団体の代表者に情報提供の了承をとり、ボランティアセンターから問合せいただいた方に連絡をします。でも、この方法ですと、問合せと提供にタイムラグが生じてしまい、いち早くボランティアを求めている方にとっては、じれったく感じることもあるようです。しかし、即時の情報提供は、保護法も施行されている現状、かなり困難です。ただ、困難ではあるけれども、よりよい方法がなにかあるはず。例えば、ボランティア団体の情報の一部とボランティアを求めている人の情報の一部を等価とし、情報交換というかたちをとるとか。事前にボランティア団体に情報提供について、詳細な確認をしておくことも大事です。時間はかかりそうですが、いろいろ模索しつつ、よりよくつなぐ方法を見つけていきたいです。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

NPO室で長らくおつきあいいただきました出丸朝代です。本年3月末で三重県を定年で退職させていただきました。

退職のご挨拶

出丸朝代

NPOに関わりをもった最後の8年間は、みえの市民活動をみなさまと共に築いてきたという誇らしさを伴った実感があります。8年もの間には語り尽くせないほどの物語がありますが、特に最後の年は、超エキサイティングな一年でした。みなさまと共に県政運営の根幹に強くくさびを打ち込むことができたことと実感しました。喜びと共に達成感をもって職を退くことができましたのは、いつもみなさまのご支援があったからこそです。心からお礼申し上げます。

今後は、みなさまがしてくださったように、市民としてNPO室を応援していきたいと思っています。それと同時に、立場が変わっても関わっていくテーマは同じだと思いますから、これからは市民セクターの一員としてお付き合いいただきたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は4団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備え置いてあります。

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
 - (1)マイトリ(2)溝井力(3)伊勢市中須町453番地1
 - (1)げんき会(2)柴田健二(3)四日市笹川5丁目9番地1
 - (1)NPO法人ウエルの輪(2)岡村紀明(3)いなべ市員弁町大泉新田42番地1
 - (1)アガベの家(2)天野勢津子(3)伊賀市上神戸4397番地の5
- (平成17年2月15日～平成17年3月14日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人 安心なまちづくりの会(16年10月18日)
 - 特定非営利活動法人 NPO・パートナーシップ創(17年1月11日)
 - 特定非営利活動法人 地域開発研究機構(17年1月17日)
 - 特定非営利活動法人 知恵の輪(17年1月31日)
 - 特定非営利活動法人 希望の園(17年2月17日)
 - 特定非営利活動法人 a trio(17年2月17日)
- (平成17年2月15日～平成17年3月14日届出分)

イベントスケジュール

三重県科学技術振興センター

「施設公開・科学体験教室」(科学技術週間行事)

●とき/4月18日(月)～24日(日)AM10:00～PM4:00

●ところ/津市:工業研究部・農業研究部
松阪市:畜産研究部 白山町:林業研究部
志摩市:水産研究部 桑名市:工業研究部金属研究室 四日市市:保健環境研究部・工業研究部窯業研究室 鈴鹿市:鈴鹿水産研究室

●参加費/無料

●内容/「発明の日」である4月18日を含む一週間は「科学技術週間」です。センターでは、この期間中に研究現場などを県民の皆さまに公開し、職員が施設内をわかりやすくご案内します。また、週末には、工作や実験などいろいろ体験できる科学体験教室も開催します。皆さまが感じる『?』を、『!』にしようと研究員がご来場を楽しみにお待ちしております。みんなで三重の地に科学の輪を広げましょう!

●申込方法/水産研究部(志摩市)の科学体験教室のみ、事前申込が必要。詳しくはホームページ参照または、下記まで問い合わせを。

●問い合わせ先/科学技術振興センター総合企画部 研究企画グループ Tel.0593-29-3620

E-mail info@mpstpc.pref.mie.jp

ホームページ http://www.mpstpc.pref.mie.jp/

クラフト&手作りフリマ@ベルファーム1周年イベント

●とき/4月24日(日)AM10:00～PM3:00

●ところ/松阪農業公園ベルファーム
(松阪市伊勢寺町 松阪インター下車すぐ)

●参加費/出店料(1ブース)1800円

●内容/ベルファーム1周年イベントに手作り作家が大集合。陶芸、木工、ガラス、フラワーデザインなど手作り作品のフリマです。プロアマ問わず出店できますが、商品は手作り品に限ります。また、飲食品は販売できません。当日はフリマ以外にも、チェーンソーパフォーマンスショーなどクラフト好きに人気のショーが盛りだくさんです。

●募集数/100ブース(サイズ3.0m×3.0m)

●応募締切/4月20日(水)

●申込方法/住所、氏名、Tel、出店内容、ブース数をご記入の上、E-mail、Fax、郵送のいずれかで受付。

●申込・問い合わせ先/515-0811 松阪市塚本町554-105号チャンネルM「ベルファームフリマ 事務局」宛

携帯Tel.090-3385-6958 Fax.0598-22-0908

E-mail ch-m@m5.dion.ne.jp

ベルファームホームページ http://www.bellfarm.jp/

●主催/財団法人ベルファーム

日本障害者スポーツ協会公認

障害者スポーツ指導員養成研修会(初級)

●とき/5月14日(土)、15(日)、21日(土)、22日(日)

●ところ/三重県身体障害者総合福祉センター

(津市一身田大古曾670-2)

●受講料/1000円 ●募集人数/50人

●内容/障害者のスポーツ指導と活動を支援する人材の養成。(講義・実技)実技講師には、パラリンピック出場選手や県内障害者競技団体選手等を予定。対象は県内に在住または勤務する18歳以上の方。全日程参加が条件です。

●応募締切/4月20日(水)必着

●申込方法/申込研修会名、住所、氏名、電話番号、勤務先名称(学生の場合は学校名)を記入のうえ郵送。

●申込・問い合わせ先/514-0113 津市一身田大古曾670-2 三重県身体障害者総合福祉センター 経営企画チーム(担当:川嶋)

Tel.059-231-0155 Fax.059-231-0356

老人介護講演会「新しい介護をはじめよう」

●とき/5月14日(土)AM10:00～PM3:00

●ところ/名張市総合福祉センター ふれあい

●参加費/3000円(開催協力費)

●内容/「介護とは何か」「痴呆ケアとは何か」「新しい介護のための実技教室」。講師は三好春樹さんです。

●申込・問い合わせ先/高齢者自立支援団体 和嬉会愛(担当:中山) Tel.0595-68-2390 E-mail tok@nava21.ne.jp

生活とリハビリ研究所 Tel.0120-344-313

(月～金 AM10:00～PM5:00)

国際貢献フェスタinみえ2005

●とき/6月11・12日(土・日)

●ところ/アスト津(津市羽所町700) ●参加費/無料

●内容/三重県では、世界のことや地域の活動者のご紹介、コンテスト、ワークショップ、おしゃべりなどを通して、私たちとのつながり、私たちが国内外でできることなど、国際貢献について考えていただくイベント「国際貢献フェスタinみえ2005」を開催します。エッセイコンテスト、世界への夢(活動報告と夢の発表)、NPO・NGO等の活動紹介展示、国際理解ワークショップ、しゃべり場(フリーディスカッション)、留学生との国際しゃべり場、フェアトレード品の販売、古切手などの収集、ピークトークマラソン(著名人による講演や俳句募集など)などを予定しています。詳しくはチラシやホームページを。

●問い合わせ先/514-0009 津市羽所町700 アスト津3階
国際貢献フェスタinみえ2005実行委員会事務局(三重県生活部
国際室) Tel.059-222-5974 Fax.059-222-5984
E-mail kokusai@pref.mie.jp
ホームページ http://www.pref.mie.jp/kokusai/hp

●問い合わせ先/タンポボ調査・近畿2005 三重県実行委員会
佐野順子 Tel.&Fax.059-223-0869
E-mail CZR01205@nifty.com
木原寿代 Tel.&Fax.0598-23-0856
E-mail hisayo@mctv.ne.jp

ネットワークのよびかけ

～子どもとの関わりを実践的に学びたい学生のための～
ボランティア・スクール

アスペ・エルデの会正会員団体であるピカリンでは、一緒にボラン
ティアをする大学生・専門学校生を募集しています。ピカリンは、軽
度発達障害の子どもが、同じような障害を持つ子どもたちや専門家・
ボランティアスタッフと一緒に勉強や遊び、談笑などの交流を通じて
成長をはかることを目的とした活動を行っています。子どもたちと
の活動の他にも、第一線で活躍している専門家の指導やレクチャー
を受け、活動を通して他大学の学生とも交流を深めることで自分
自身の視野を広げ、成長にもつながる貴重な体験をすることができます。
詳しい活動内容は<http://www.as-japan.jp/>をご覧ください。
【説明会】

- とき/4月24日(日)PM1:30~PM2:30
- ところ/みえ市民活動ボランティアセンターミーティングルーム4
(津駅前 アスト津3階)
- 申込方法/事前に電話またはE-mailで申込。
- 問い合わせ先/514-0009 津市羽所町700 アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター 気付 私書箱52号 ピカリン
(アスペ・エルデの会正会員団体) 携帯Tel.090-3954-9827
(PM8:00~PM10:00) E-mail mie@as-japan.jp
ホームページ <http://homepage2.nifty.com/aspergermie/>

宣長まつり「私の人生を変えた出来事」エッセイ募集
本居宣長が賀茂真淵と出会って人生が大きく変わったように、あなた
にとって人生を変えた出来事はありますか。応募資格は国内在
住であれば、年齢性別を問いません。

- 応募締切/4月30日(土) 必着
- 応募方法/400字程度にまとめてください。郵送、Fax、E-mail
いずれも可能です。応募の際は、必ず別紙にエッセイの題名、住所、
氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入のこと。
- 賞/優秀賞(2人)・・・松阪おもてなしの旅にペアご招待。(交通費・
宿泊・食事含む)松阪肉や松阪名産品のお土産付。
入選(3人)・・・松阪にちなみだ品。
- 応募・問い合わせ先/515-0017 松阪市京町 507番地2
松阪市観光協会 宣長まつり事務局 Tel.0598-23-7771
Fax.0598-26-4778
E-mail info@matsusaka-kanko.com
ホームページ [http://www.city.matsusaka.mie.jp/kankou/
matsusaka/essei/essei.htm](http://www.city.matsusaka.mie.jp/kankou/matsusaka/essei/essei.htm)

タンポボ調査・近畿2005本調査への 参加をお願いします

この調査は、市民に生えているタンポボの種類を記録してもらい証
拠としてサンプルを送ってもらうというもので、身近な自然を見つめ
ていただく機会となるとともに、現時点でのタンポボ分布を示す信
頼性のある基礎資料となります。特に三重県では在来種の分布につ
いて十分に把握できていない部分も多く、最近話題となる雑種につ
いてもその出現状況がつかめていないことから、今回のタンポボ調
査の意義は大きいと思います。在来種と外来種、さらにそれらの雑
種が、今後の土地改変等環境の変化とどのように対応していくのか、
これを契機に見守っていききたいと思っています。最近はずっかりマイ
ナーになってしまいましたが、実際に野外へ出て生き物を探し、こつ
こつと観察・記録することの大切さを伝え、それらの成果を皆で共有
できればと思っています。

【調査について】
お渡しする『タンポボの見分け方と調査の要領』をお読みください。
主な調査内容は、調査年月日、調査地、生えていた場所の環境、種類、
総苞外片の開き具合で、観察した株の頭花と種子を添付します。
多数ご協力いただける方は、できれば予備調査で情報の少なかった
地区を分担していただきたく思いますので、ご希望の地区と合わせ
て下記事務局までご連絡ください。

平成17年度カウンセリング実践講座生募集

教育福祉医療の現場で生かせる、暮らしに役立つカウンセリングを
5月から3月まで毎月1回、1年通して11回、33時間体験的に学び
ます。人間関係とカウンセリング、感覚の覚醒、自己理解他者理解、
傾聴トレーニングなどをワークショップ形式で学ぶ基礎講座。講師は
みえ親子・人間関係研究会理事長の河合卓子さんです。

- とき(開講日)/木曜夜コース...5月12日PM6:30~PM9:30
土曜コース...5月14日AM9:30~PM12:30
- ところ/みえ親子・人間関係研究会研修室(JR阿漕駅前アコギビ
ル2階)
- 受講料・会費/34000円(2回分割払い)
- 募集人数/土曜コース2~3人、木曜夜コース15人
- 応募締切/4月15日(金)
- 申込・問い合わせ先/514-0834 津市大倉13-19アコギビル
2階 NPO法人みえ親子・人間関係研究会 Tel.&Fax.059-
246-5562 携帯Tel.090-7047-2525

ろう重複作業所設立準備委員会からのお願い

ろう重複障害者のための作業所作りに取り組んでいるひまわりの会
では、三重県聴覚障害者協会、全国手話通訳問題研究会三重支部、
三重県手話サークル連絡協議会とともに「作業所設立準備委員会」
を立ち上げ、三重県で初めての手話・指文字などのコミュニケーシ
ョンが保障される作業所の設立に向けての準備を進め、2008年4月
の開所にむけて取り組んでいます。つきましては津市内で作業所と
して無償で借用できる土地を探しています。

- 【条件】
- 面積/100坪以上 ●契約期間/10~15年間の長期借用。
- 措置/社会福祉関係への土地貸与ということで「固定資産税」が
免除。
- 問い合わせ先/作業所設立準備委員会事務局(海老原睦治)
Tel.059-234-4532

住まいるスクール受講生募集

住まいるスクールでは、知っているを得をする間取りの考え方(プラン
ニング)を中心に住まいの勉強会を開催しています。講師は、現在
活躍中の亀山・鈴鹿・四日市の設計士、大工、工務店が行い、パート
ナー選びのポイントや、間取り作りのポイントについての講義を予定
しております。参加希望の方は事務局までお問い合わせを。

- とき/4月23日、5月14・28日、6月11・25日、7月9・23日
(すべて土) PM7:00~PM9:00
- ところ/北東地区コミュニティセンター(変更有)
- 受講料/全講座参加...1家族5000円
1講座のみ参加...1家族1000円(資料代、消費税込)
- 問い合わせ先/519-0111 亀山市栄町萩野1488-185
住まいるスクール事務局 なかの材木(担当:多田)
Tel.0595-83-1596 Fax.0595-83-1818
E-mail n.lumber@za.ztv.ne.jp
ホームページ <http://www.alfa-system.net/sumai>

森林資源循環活用フォーラム記録集

緑のループ

森林資源のなめらかな流れ

～林業から合成化学工業へ～

昨年5月に開催された森林資源循環活用フォーラム(三重県生涯学習センターにて)が、本
になりました。後始末のいらない持続的な未来の社会システムを具
体的に描く内容で、三重大学生物資源学部の船岡正光教授の基調講
演を中心に、開発の現場からの報告、研究室の取り組み、参加者の声
などが収められています。ユニークな注釈と親しみやすい図解やイ
ラストが豊富に入り、単なる記録集を超えて多くの人たちに楽しんで
いただける科学読み物となっております。
船岡正光教授の研究は、文部科学省からも高く評価され、科学技術
振興事業団のバックアップも受けました。先ごろ三重県が特許を取
得した事で話題になった「自然分解するプラスチック」は同教授との



共同研究による成果であり、その報告も収録されております。

【緑のループ】

- 編著／緑のループ編集委員会+船岡研究室
- 価格／1500円(税込)
- 取扱店／三重大学生協、第二書房県庁支店、教文書院、別所書店(チャム、津西、南郊、修成、名張、海山)、宮脇書店(四日市本店、鈴鹿)ほか。直接送付もできます。
- 発行・申込・問い合わせ先／森の風プロジェクト
Tel.&Fax.059-230-3688 E-mail morinokp@zvtv.ne.jp
ホームページ <http://www.zvtv.ne.jp/morinokp/>

三重テレビ「住民リポーター」募集

「住民リポーター」は、テレビを見ているみなさんが、自らテーマをみつけて取材・撮影をし、生放送でレポートするというものです。近所で話題の人、サークルの活動、学校の名物先生、隠れた人気スポットなどなど、どんな話題もOK!テレビ局のスタッフや新聞記者も知らない「特ダネ」をレポートしてください。これまでに県内で活躍する100以上の団体が出演し、約300人の住民リポーターが活躍しています。「難しそう」と思われる方も、気になる話題があれば、まずご連絡ください。スタッフがサポートします。ビデオカメラは無料で貸し出し、撮影の仕方も教えます。なお、布教活動や営利活動に関する内容はお断りしています。

【放送日】

- 毎週水曜日 PM6:30~PM7:30内の10分間。
- 問い合わせ先／三重テレビ放送 住民リポーター係(担当:平田・藤井) Tel.059-223-3360 Fax.059-228-9334

助成金 ニュース

【青少年育成室からのお知らせ】

非行防止地域ネットワーク推進事業(委託モデル事業)

- 受付期間／4月1日(金)~28日(木)
- 委託対象となる団体／応募資格は1、「非行防止地域ネットワーク会議」を3団体以上の連携により構成し、モデル全体のネットワークの責任体制を明確にできるもの。2、ネットワークを構成する団体は、5名以上の会員によって構成されている県内の団体であって、応募時点でそれぞれの活動実績が1年以上あるものとしますが、この事業の目的に沿った活動をするものであれば、必ずしも青少年の育成を目的とする団体に限定するものではありません。申請者は下記の(1)(2)においては「非行防止地域ネットワーク会議」または「非行防止地域ネットワーク会議設立準備会」とし、(3)においては「非行防止地域ネットワーク会議」の活動の核となるNPOとします。
- 委託対象となる活動／1、次の(1)~(3)のいずれかのモデル事業。
(1)市町村モデル:市町村単位でネットワークを組織するもの。
(2)広域モデル:複数の市町村でネットワークを組織するもの。
(3)NPOモデル:県内のNPOが核となり、他の活動団体等とともに、地域で「非行防止地域ネットワーク会議」を組織し、NPOの専門分野の見地から、日常的に非行防止活動を実施するもの。
2、平成17年9月末日までに「非行防止地域ネットワーク会議」を組織することとし、住民団体、ボランティア団体、青少年団体、NPO、関係機関などが互いに連携して日常的に非行防止活動に取り組むこと。
3、その取り組み内容や手法が先駆的であり、事業の成果を広く社会に還元することが期待できるもの。
- 委託費の限度額／(1)及び(3)は100万円以内、(2)は120万円以内。(計6地域予定)
- 応募方法／申請書は下記へ請求するか、ホームページ(<http://www.pref.mie.jp/seiiku/gyousei/net/index.htm>)からダウンロード。

平成17年度青少年規範意識向上活動支援事業(委託団体)

- 受付期間／4月1日(金)~28日(木)
- 助成の目的／青少年自らの規範意識の啓発を推進する生徒を「規範意識向上推進員」と位置づけ、青少年自身が主役となった規範意識の向上と健全育成を図ろうとする規範意識向上活動(社会参加活動、社会奉仕活動、環境美化活動など)を実施する事業を委託します。
- 委託の対象となる団体／申請者は、県内に構成団体、支部等のネットワークのある団体であって、応募時点でそれぞれの活動実績が1年以上あるもの。生活部青少年育成室が実施する他の事業との重複する申請については機会を広く提供するため、いずれかの申請とすること。なお、県内3地域(3市町村)

以上での事業実施を条件とします。

- 委託対象内容／(1)「青少年規範意識向上推進委員会」を設置。(2)「規範意識向上推進員」となる青少年(中学生・高校生)を募集。(3)「青少年規範意識向上推進委員会」会長名で「規範意識向上推進員証」を交付。(4)「規範意識向上推進員」が中心となり自主活動(活動例:下記)を企画・運営。(5)青少年の参加者を広く募集して、多数の青少年で自主活動を実施。(6)学校・地域・行政・警察等の各関係機関が青少年の自主活動を支援。(7)ホームページ等での情報発信。
- 委託金額／対象とする経費のうち、上限150万円。(1団体予定)
- 応募方法／申請書はホームページ(<http://www.pref.mie.jp/guide/ka.asp?u=050140>)からダウンロードするか、下記へ請求。

青少年居場所づくり事業

- 受付期間／4月1日(金)~28日(木)消印有効
- 事業の目的／中高生の世代の青少年が、土日、放課後の時間帯を中心に、気軽に立ち寄り、自由に集まることができる居場所を設け、そこに集まる青少年自らが企画・運営する活動を支援する事業に取り組んでいます。
- 補助対象／地域で青少年を育成し居場所づくりに取り組む個人や団体で組織する委員会(青少年支援委員会)。
- 補助の対象となる事業の要件・内容の概要／(1)「青少年の居場所」づくり(必須要件)活動拠点となる「青少年の居場所」を地域の公共施設、公民館、空き店舗等につくるものとします。
(2)「青少年委員会」の設置(必須要件)青少年で組織され、居場所の運営及び各種活動を企画するための「青少年委員会」を設置するものとします。
(3)コーディネーターの設置(必須要件)青少年委員会をサポートするコーディネーター(申請者との兼務可)を設置するものとします。
(4)居場所で企画・運営する活動(地域や施設の実情に応じて)「青少年委員会」で企画したサークル活動・体験活動とします。
- 補助金額／対象とする経費のうち、上限20万円。(20団体程度を募集)
- 応募方法／申請書はホームページ(<http://www.pref.mie.jp/SEIiku/Gyousei/ibasyo/index.htm>)からダウンロードするか、下記へ請求。提出書類は(1)交付申請書【第1号様式】、(2)事業実施計画書【第2号様式】、(3)事業収支予算書【第3号様式】です。

- 申込・問い合わせ先(以上3件とも)／生活部青少年育成室
514-0009 津市羽所町700番地 アスト津3階
Tel.059-222-5986 Fax.059-222-5979
E-mail seiiku@pref.mie.jp

地域活動支援事業補助金

- 受付期間／4月1日(金)~5月10日(火)必着
- 補助の目的／三重県の生涯学習振興の一環として、地域における社会教育関係団体の事業の充実や、社会教育関係団体を基盤とした地域社会の形成を図るために、社会教育関係団体が行う地域活動に対して、事業にかかる経費の一部を補助します。
- 補助の対象となる団体／A 社会教育法第10条に規定された団体で、全体的あるいはそれに準ずる広域にわたって社会教育活動を行っていること。
B 定款、寄付行為又は規約を有し、団体としての意志決定により事業の執行ができること。かつ、独立した経理及び監査の機能が確立していること。
C 団体の実績が客観的に認められること。
D 活動の本拠となる事務所が三重県内に置かれていること。
E 三重県内に住所若しくは勤務先があるものによって構成された団体であること。
- ただし、AからEの要件を備える団体であっても政治活動、宗教活動、営利事業を主たる目的とする社会教育関係団体は補助金対象から除外。
- 補助の対象となる活動／生涯学習振興のための社会教育活動に係る事業で、概ね次に掲げるものとし、一つの団体について一つの事業を補助対象とします。ただし、全国規模あるいは、それに準じる規模で行われる事業は、除外。
A 大会又は行事の事業 B 調査研究又は資料の作成、配布の事業
C その他必要と認められる事業
- 対象事業の期間／平成17年4月1日~平成18年1月31日
- 助成の額／補助対象経費の1/2以内、上限15万円。
- 問い合わせ先／県教育委員会事務局生涯学習室社会教育グループ「地域活動支援事業」係 514-8570 津市広明町13番地
Tel.059-224-3322 Fax.059-224-3022
E-mail ooshit01@pref.mie.jp
ホームページ <http://www.pref.mie.jp/SHOGAKU/hp/>

(財)損保ジャパン NPO法人設立資金助成

- 受付期間/4月1日(金)~30日(土)消印有効
- 助成の対象となる団体/障害者・高齢者を対象とした、主として在宅福祉活動を行う団体で、平成17年度中にNPO法人の設立認証申請を行うもの。
- 助成の額/1件30万円
- 応募方法/応募要項などは下記へ請求するか、ホームページからダウンロード。申請は郵送にて。
- 問い合わせ先/損保ジャパン記念財団社会福祉助成係
160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン本社ビル37階
Tel.03-3349-9570 Fax.03-5322-5257
E-mail fvgp3340@mb.infoweb.ne.jp
ホームページ <http://www.sompo-japan.co.jp/foundation/>

社会貢献支援財団 表彰候補者推薦

- 受付締切/5月16日(月)必着
- 推薦対象/国の内外を問わず、社会と人間の安寧と幸福のために貢献し、顕著な功績を挙げながら、社会的に報われることの少なかった方。
- 表彰部門と賞/【第一部門】「緊急時の功績」(副賞:日本財団賞)
海難・水難、交通事故、遭難などに際し、身命の危険を冒して救助・救援に尽くされた功績。
犯罪などの発生に際し、身命の危機を冒してその解決に協力された功績。
【第二部門】「多年にわたる功労」(副賞:日本財団賞)
精神的・肉体的に著しく労苦の多い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績。著しく危険性の高い活動や業務に多年にわたり従事し、他に尽くされた功績。不潔、不衛生など、劣悪な状況・環境に耐え、多年にわたり他に尽くされた功績。その他、困難な状況の中で多年にわたり努力し、社会と人間の安寧・幸福のために尽くされた功績。
【第三部門】「特定分野の功績」(副賞:日本財団賞)
(1)海の貢献賞
海の安全確保、環境保護、汚染防止等に尽くされた功績。海に関わる産業分野において(長年の経験を持ち、技能が傑出している方の功績。その分野を大きく前進させる発明・考案・改良などをなされた方の功績)。海に関わる文化の発展・保存・伝承などに貢献された功績。
(2)国際協力賞
日本(人)が関与する事柄で、社会と人々の安寧と幸福のために尽くされた外国籍の方の功績。
(3)ハッピーファミリー賞
多くの子供を育て苦勞を重ねながらも明るく生きてこられた方や、親や家族の尊さを自覚しそのために尽くす若者の功績。
(4)21世紀若者賞
自ら積極的に社会や他人のために尽くしている若者の功績。

- 賞/表彰状、記念品のほか、副賞「日本財団賞」賞金100万円。ただし、21世紀若者賞は賞金20万円。
- 応募方法/郵送・Faxの場合、推薦用紙を取り寄せるか、ホームページからダウンロードして使用。インターネットの推薦フォームも利用できます。
- 問い合わせ先/社会貢献支援財団
105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル
Tel.03-3502-0910 Fax.03-3502-7190
E-mail fesco@mve.biglobe.ne.jp
ホームページ <http://www.fesco.or.jp/>

子育て家庭支援活動

- 受付期間/4月4日(月)~5月20日(金)(予定)
- 助成の対象となる団体/地域において小学校就学前の子どもの子育てをしている保護者(妊婦等含む)を対象に支援活動を行っている民間非営利の団体等。
- 助成の対象となる活動/小学校就学前の子どもの保護者(妊婦等含む)を対象にボランティアで行っている支援活動(子育てのノウハウの伝授や育児負担を軽減させる活動など)
具体的活動例
イ) 学習会活動(育児勉強会等の開催)
ロ) 相談活動(子育て相談・カウンセリング)
ハ) 情報提供活動(子育て情報誌等発行等)
ニ) 支援者養成活動(保護者等の支援者(サポーター)の専門性向上を図るための研修会等)
ホ) 交流活動(集い・情報交換の場の提供)
ヘ) 保育(保護者等の疾病時の一時預かり等)
ト) その他、保護者等(妊婦等含む)を支援する上で、効果的と認められる支援活動。
●対象事業の期間/平成17年9月~同18年3月の期間分
●助成の額/1団体等当り上限30万円。助成金総額1200万円以内。
●応募方法/助成申請書は、団体等名、住所、電話番号、担当者名を記入のうえFaxまたはハガキで下記まで請求するか、ホームページからダウンロード。申請書などは必ず郵送または宅配便にて送付。
●問い合わせ先/社団法人 生命保険協会 広報部
100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目4番地1号 新国際ビル3階
Tel.03-3286-2643 Fax.03-3286-2730
ホームページ <http://www.seiho.or.jp/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。
(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

特定非営利活動法人市民ネットワークすずかのぶどう

鈴鹿市白子駅前18-15 Tel.&Fax.0593-87-0767

E-mail budou@mecha.ne.jp ホームページ <http://www.budou.gr.jp>

「地球温暖化防止活動推進員等交流会に参加して」

平成17年2月23日、24日東京都千代田区の(財)主婦会館で開催された全国地球温暖化防止活動推進センター主催の「地球温暖化防止活動推進員等交流会」に三重県から3名の一人として参加しました。自分が参加した分科会B「テーマ:地球のネットワーク」について簡単に報告します。グループ討議では「推進員」に求められる必要な役割について
(1) 行政、事業者、市民間のコーディネーター
(2) 実践(自ら率先してやること)

二日目は、必要とする力を得るためにはどのように組めば良いのか、何をやる必要があるのかを検討した。分科会の最終発表会では「地域の計画づくりの段階に「環境」がうまく入り込めれば、うまくやっていけるだろう。いっしょに作っていくことが大切」との評と、粘り強い対応が大切との指摘をうけた。最後に設けられた全体総括では、参加者から「推進員のコーディネーター能力」・「行政との協働」・「推進員が持つ知識の実践」などの必要性、「推進センター・地域協議会」の重要性、交流を通じて明らかになった推進センター間の大きな格差の存在に対する懸念などの発言があった。交流会の概要は以上のようなものであったが、推進員制度が発足して数ヶ月が経過した三重県や私たちが担当する「北勢地域」での今後の活動の進め方を考えると、先ず「推進員間の協力や分担の調整」、「推進母体となる」といえば「地域協議会」の設立などを検討する必要があると考える。又、研修会の中心にあった自分たち推進員にとって、「できること」、「援助を求める必要があること」をはっきり示して、行政への相談、具体的な提案から始めることになるのではないと思う。

三重県地球温暖化防止活動推進員
西田 達弘(三重県鈴鹿市)



いせ市民活動センター

パーティいせ情報

■休館日/毎週水曜日 (その日が祝日に当たるときは、翌日以後の休日でない日)
 ■開館時間 午前9時から午後10時

パーティ・マーケット
 ★オープンしました!

アジアを中心としたフェアトレード商品、EMを使った石鹸、草・木・土など自然のもので家庭を癒す手作り品、さおり織りによる小物やグッズ、手作りの絵やはがき、近辺の家庭に眠っているバザー用品など…掘り出し物があるかも! いせ市民活動センターのマスコット、パーティくんグッズもできました。商品だけでなく、ひよつとしたら新しい仲間を見つけられるかも。



パーティ・マーケットは、市民活動団体の資金作りや、活動の一環としての商品販売を支援する雑貨屋さんです。7つの団体が運営しています

パーティマーケット

- 1/NPO法人いせコンビニネット
- 2/NPOクロムジャパン
- 3/いもっこ(EMでの環境活動)
- 4/チア・アップ・ママ(社会づくりに協力するボランティア団体)
- 5/厚生総合型スポーツクラブ
- 6/ステップワン(心身障害者小規模作業所を運営)
- 7/WORK UP(手作りを楽しむ創作グループ)

場所/伊勢市駅前

野島書店 2階

※駐車場はありません

営業時間/11時~19時

定休/木曜日

問/いせ市民活動センター

『パーティいせ』

TEL0596-20-4385

ホームページもご覧ください

<http://skc.e-ise.net>

いせ市民活動センター
 パティいせ

伊勢市岩渕1丁目2番29号

TEL 0596-20-4385

FAX 0596-20-4386

Email/skc@e-ise.net



このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会が担当しています
<http://www.po-npo-n.com>

W.T.Aまちづくりセンター情報

〒518-0866 伊賀市上野小町1-3045-1
 TEL: 0594-27-2612 090-3302-0627 伊賀・中絶 23
 FAX: 0594-21-0072 11-944-10-11magi-4745@expweb.ne.jp

4/1~4/5まで
 活動がスタート。
 300円
 100円
 50円

4/1~4/5まで
 活動がスタート。
 300円
 100円
 50円

またまたお祭り
 伊賀市
 4/11(水) 19:30~

伊賀市自治基本条例
 研究会!!

30.4.4 会議のご案内
 合併前から初めてはいわゆる
 3年連続になりま。はじめから
 コーディネーターの立場にいる者
 同士の顔の見えつたがリテ
 リと、ネットワークを強化
 ネットワークを強化するよう
 に、という思い。また、何か
 したいけど どうしても、わから
 ないという方、活動として
 はじめがスタート...など、相談
 を受けられる場として開催しま
 した。伊賀市には、7月からまた
 少しづつ、ネットワークを強化す
 べく、集まっています。お気軽に
 お越し下さい。

4月12日(火) 19:30~
 伊賀市民活動センター(伊賀市役所)
 5月11日(水) 19:30~
 場所は調整中

中絶支援ネットワーク
 交流会のご案内
 5月21日(土) アサナリ 開催。毎週 月曜日 19:00のみなさんが来てくれ
 ています。市民活動センターの活動が、おもしろい。そして、何と
 なく、おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。
 4月11日(水) 19:30~
 伊賀市自治基本条例研究会!!

4月になりました。選挙の準備が新幹線の方、退職された方、
 また、入学などなど、いろいろな変化が身近にある方が多
 いためには、おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。
 12月24日に公布・施行
 されたこの条例、伊賀市
 らは、おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。
 12月24日に公布・施行
 されたこの条例、伊賀市
 らは、おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。

伊賀市自治基本条例
 研究会!!
 12月24日に公布・施行
 されたこの条例、伊賀市
 らは、おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。
 12月24日に公布・施行
 されたこの条例、伊賀市
 らは、おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。

5月21日(土) アサナリ 開催。毎週 月曜日 19:00のみなさんが来てくれ
 ています。市民活動センターの活動が、おもしろい。そして、何と
 なく、おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。おもしろい。
 4月11日(水) 19:30~
 伊賀市自治基本条例研究会!!

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。燈籠祭をきっかけに市民活動を始めたという中井孝佳さんがバトンを渡したのは環境ボランティアの田上至さん。メダカをキーワードにビオトープづくりや、環境学習など、幅広く活躍中です。

宇宙メダカできっかけづくり

……田上さんはずっと海山町に住まれているのですか？
都会に憧れて一度は東京へ行きましたが、こちらに帰ってくることになりました。当時、この辺りは本当に何も無い町だったのですが、僕はこのふるさとの自然が魅力的に感じたのです。それで平成5年に自然を愛する海山メダカの会（以下、メダカの会と略）を友人と二人で立ち上げました。最初はかなりバカにされましたね（苦笑）。

……その当時、環境教育や環境保全の活動をしているグループは他に無かったですか？

学術的に研究している方は何人かいましたし、船越の池を守ろうという運動をしているグループはありましたが、環境教育や自然の大切さを普及していこうというグループは海山町にはありませんでした。尾鷲市には尾鷲自然研究会など、いくつかありましたけど。

……メダカの会という名称ですが、メダカだけを対象にしているのですか？

メダカはあくまでも象徴で、自然全般ですね。例えば小学校でカブトムシの育て方を説明したり、幼稚園で生き物の話や川で溺れないための話などもしています。

……海山町ではまだ自然の中でメダカが生息しているのですか？何カ所か、メダカの生息地があります。ペットショップなどで簡単に手に入るヒメメダカは品種改良されていますが、自然の中にあるメダカはクロメダカとも言います。

……メダカの会の活動をどうやってアピールしたのですか？

海山町が主催していた「がいなもんじゃ海山」というイベントに参加しました。自分たちが活動を始めるなかで、自然保護団体や役場をはじめとした行政の話をいろいろ聞く機会があったのですが、お互いの間に溝があることを感じました。でも僕は自然を守るためには、行政と仲良くやっていくのが近道かなと思って、あえて町が主催し

ているイベントの中に飛び込んでいったんです。

……「がいなもんじゃ」とはどういう意味ですか？

この地域の方で「すごい」という意味です。このイベントでメダカの会はカブトムシの販売や懐かしい生き物の展示のほか、宇宙メダカを展示しました。

……宇宙メダカとは？

1994年7月8日、スペース・シャトルコロンビア号によって、宇宙飛行士の向井千秋さんと一緒に宇宙に飛び立った4匹のヒメメダカです。シャトル内でふ化実験が行われ、その子孫を東京大学、宇宙メダカ実験研究代表の井尻憲一先生から譲り受けました。

……どうやって宇宙メダカを手に入れたのですか？

いきなり名古屋の東山動物園に行って、「園長さんに会わせてください」と言いました（笑）。ここは僕の良い所か、悪い所かわからないのですが、「これは面白い」と思うとすぐに、どこにでも行くのです。よく鉄砲玉って言われます（笑）。話をしていたら、いなくなってるって。

……訪問の連絡はしたのですか？

アポ無しで。凄いでしょ（笑）。イベントで宇宙メダカを展示したいと話したら、園長さんが井尻先生に連絡してくれました。名古屋駅のホームで井尻先生と待ち合わせたのですが、地下鉄サリン事件のすぐ後だったにも関わらず、井尻先生がメダカを入れたペットボトルを紙袋に入れて持ってこられて…（苦笑）。

……イベント参加以外にはどんな活動をしていますか？

6年目くらいまでは、町内の小学校にメダカを配っていました。5年生の理科に卵の飼育という項目があるので、それに使ってもらいました。教科書を見るとヒメメダカを飼育しているのですが、田舎の子がヒメメダカで勉強しとったら、あかん（笑）。やっぱり自然のメダカで勉強して欲しいと思ったのです。あと、ビオトープなども3カ所、作りました。最近、ツツト峠を守る会さんが「めだかの分校」と名付けたビオトープを作られたのですが、それも少しお手伝いしました。

……めだかの分校ということは、本校もあるのですか？

本校は自然そのものでしょう。今、メダカが絶滅の危機にさらされていますから、本校が危険な状態と言えます。それで自然のメダカの種を保存する趣旨でメダカの分校は作りました。ただ残念なのは、善意でヒメメダカを持ってきてくださる方がいるのです。メダカの分校では種の保存に主眼を置いているので、ヒメメダカなど品種改良されたメダカは入れないよう、お願いしています。ただ、こっそり入れていく人も中にはいて…（苦笑）。何度か、ヒメメダカすくに行きましたよ。

……ビオトープの良さは？

ビオトープを作って一番嬉しいのは、環境を人間が整えたことで、放っておいても自然の中からゲンゴロウやトンボなどの生き物が集まってきて、身近に見ることができるようになることです。子どもたちも僕らが何も説明しなくても、そういった生物を見つけるし、興味を持ってくれます。「おじさん、あれ何？」「ゲンゴロウや、初めて見るんか？」「うん」という具合。それが僕らには最大の喜びですね。

……この辺りは自然もまだ豊富にあるように思いますが、子どもたちは自然の中で遊ばないのですか？

子どもが自然離れしているのは、ここでも都会でも同じ。僕もその辺



自然を愛する海山メダカの会 代表

田上 至 さんに 聞く

りはよく考えますが、今の子どもは僕らの子ども時代に比べると遊び道具をたくさん持っているんですね。僕らの時は遊ぶとなると野原しかなかったから、自ら進んで自然体験をしてきたけど、今の子どもたちは手をさしのべてあげないと、遊びませんね。だって、楽しい物は他にたくさんありますから。

……人々の目を自然に向けるテクニックは？

きっかけづくりが大切だと思います。自然を守ることは大切ですが、「自然を守ろう」と言っているだけでは、聞く耳を持ってもらえなかったら終わりです。どんなに知識があっても、堅苦しい話ばかりではね。受け入れられなかったら、役に立ちません。

……確かに宇宙メダカはインパクトがありますね。

宇宙メダカは注目を浴びましたね。宇宙メダカはヒメメダカですから、この辺りに放すことはできませんが、メダカに対する興味づけにはなりました。僕自身にしても植物分野にあまり得意ではなかったのですが、あることがきっかけで興味を持つようになった経験がありますよ。

僕らの会は知名度も力も、 お金もありません。 でも、この町を思う気持ちだけはある。

……そのきっかけは？

映画「となりのトトロ」です。その中に出てくるドングリが何という種類の物なのか、気になったのです。それでトトロの取材地となった埼玉県のある町に家族で出かけました。実際に樹木を見たらコナラとアベマキで、「ああ、メイちゃんが握りしめたドングリは絵柄から見てもコナラだな」って納得しました。あのアニメはドングリひとつとっても、ウソは描いてませんし、自然の素晴らしさを訴えていると思います。それで、このドングリを鉢植えして、トトロのドングリって名前をつけました。子どもたちに樹木の話をする時に、それを見せると引きつけられてきますよ。愛知万博の展示に「サツキとメイの家」がありますが、僕は家を見せて「わ～、すごい」で終わってはいけなと思います。何か、自然や環境に興味を持つきっかけを作りたい。それにはドングリを取りいれるといいのになって思います。

……きっかけづくりのアイデアが豊富ですね。

気持ちを引きつけるアイデアというのは、偉い人が考えてもなかなか思い浮かばないかもしれませんね。僕の頭の中身が変わっているのかな(笑)。まあ、僕らは、僕ら自身が楽しんで活動しているというのが本音ですから。

役場と仲良く、活動推進

……10年近く活動を続けてきて、役場との関係はどうですか？

今では川の護岸工事などの前に意見を求められるようになりました。でもこれは僕らが活動して、自然の大切さを訴えてきたこともありますが、国全体が自然を見つめ直そうという時代に入ったことが大きいでしょうね。僕らが活動を始めてからも、町の自然は残念ですが、どんどん無くなっています。もちろん、必要な工事もありますし、それは仕方がないことかもしれません。でも、それと同時にメダカの会の意見を採りいれようと役場が考えてくれるようになったこと



田上さんが協力して完成したピオトープ「めだかの分校」

とは、大きな進歩だと思います。

……メダカの会の意見が通った具体例は？

メダカが絶滅のおそれがあると国が発表するひと月ほど前に、何かの手違いでメダカが生息している池を埋め立てられてしまったことがありました。農業補助整備で用水路を整備することになったのですが、事前に話をして、その池は残すことに決まっていたんです。この時は僕も怒って、役場に怒鳴り込みました。結局、池をもう一度、掘り起こして護岸も穴あきブロックにしてくれるなど、役場も努力してくれました。

……掘り起こしたとしても、メダカはいなくなったのでは？

池に流れ込んでいた用水路に逃げていたので、池を作り直したらメダカも戻ってきましたよ。用水路が流れ込んでいない池だったら、ダメだったでしょう。この池のことで揉めている矢先に、メダカが絶滅するかも…という発表がありました。僕らはそれを聞いて「やっぱりな」って。タイミングが合いました。

……その発表で変わったことは？

メダカの会を見る世間の目も急に変わったかな。あれから、各地でメダカの会が立ち上がったんじゃないですか。僕らはずっと活動を続けていましたから、逆に注目を浴びた部分もありますね。

……何か役場と企画を立ち上げたことは？

海山町役場が海山町遊びの達人という企画を立ち上げ、地域の人の「海山町のどこで、どんな遊びができるか」募集したんですよ。僕らも役場の人と一緒に歩いて、遊びを見つけました。

……海山町遊びの達人はどんな活動ですか？

これも「自然は素晴らしい」ということを訴えかける、環境学習ですね。川の中で遊んで、生き物に興味を持ってもらい、広く環境に目を向けてもらうきっかけになれば…。遊び場の目玉は、船津川でのカヌー遊びと、清五郎滝の氷瀑かな。

……これからの予定は？

今年は熊野古道に力を入れようと思っています。世界遺産になったものの、海山町は尾鷲市や紀伊長島町に比べて取り組みが弱いと思うのです。馬越峠の人気の高いので、それにあぐらをかいているような気がします(笑)。せっかく人が来てくれても、その人が何を望んで来てくれているのかを考えなければいけません。これといった観光が無いこの町で、リピーターを作ろうと思ったら、人と人との会話と言うか、交流が大切なところだと思います。僕らの会は知名度も力も、お金もありません。でも、この町を思う気持ちだけはある。それは一つの武器だと思います。あと、中途半端になってしまっている近自然河川工法の護岸工事も再開したい。3、4年前に近自然河川工法の第一人者である福留脩文先生を招いて、お話をうかがったのです。これはまあ、ちょっとパフォーマンス的なところもありましたが、話を聞いて、行動に起こすことで地域の人の意識も変わるでしょう？今はちょっと石を置いただけになっていますから、もう一度、福留先生を招いて、完成させたいですね。

自然を愛する海山メダカの会

519-3405 北牟婁郡海山町大字船津1548-1

Tel.05973-5-0743

田上 至さんはこの人を紹介します。

服部篤彦さん

NPO法人みやま元気の会の代表である服部さん。この会では、元気な高齢者が、これまでの経験や技術を生かしながら様々な活動を行っています。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までにお送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。